

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
人間の尊厳と自立	基礎学科	4月 10月	5	7
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尊厳の保持、自立の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護等、介護の基本的な理念を理解している。</li> <li>・利用者の権利擁護等を理解している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <p>1 人間の尊厳と自立</p> <p>2 尊厳を支えるノーマライゼーション</p> <p>3 利用者のプライバシー保護</p> <p>4 利用者の権利擁護</p> <p>5 高齢者虐待の実態と対応</p>				
授業内容				
<p>1 人間の尊厳と自立</p> <p>① 人間の尊厳の保持と自立と自律</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊厳と憲法</li> <li>・個人の尊厳と介護保険</li> <li>・個人の尊厳と自立</li> </ul> <p>② 尊厳を支えるノーマライゼーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーマライゼーションの意義</li> </ul> <p>③ 利用者のプライバシーの保護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー権とは何か</li> <li>・プライバシーの保護と守秘義務</li> </ul> <p>2 利用者の権利擁護</p> <p>① 権利とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職として考える「人権」とは</li> <li>・介護職と権利擁護</li> <li>・アドボカシーとエンパワメント</li> <li>・生活支援における自己決定の意義</li> </ul> <p>② 高齢者虐待の実態と対応</p>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第1巻「人間の尊厳と自立」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数						
社会の理解Ⅰ	基礎学科	4月 10月	5	7						
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割を理解し、利用者に助言ができる。</p> <p>《概要》</p> <table border="0"> <tr> <td>1 介護保険制度の体系と目的</td> <td>4 介護保健制度の利用者負担</td> </tr> <tr> <td>2 介護保健制度のサービスの種類と内容</td> <td>5 介護保健制度における専門職の役割</td> </tr> <tr> <td>3 介護保険サービスの利用までの流れ</td> <td></td> </tr> </table>					1 介護保険制度の体系と目的	4 介護保健制度の利用者負担	2 介護保健制度のサービスの種類と内容	5 介護保健制度における専門職の役割	3 介護保険サービスの利用までの流れ	
1 介護保険制度の体系と目的	4 介護保健制度の利用者負担									
2 介護保健制度のサービスの種類と内容	5 介護保健制度における専門職の役割									
3 介護保険サービスの利用までの流れ										
授 業 内 容										
<p>1 介護保険制度</p> <p>① 介護保険制度の体系と目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険成立の背景</li> <li>・介護保険制度の概要</li> <li>・保険者及び被保険者</li> <li>・利用者負担</li> </ul> <p>② 介護保険制度のサービスの種類と内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険給付の種類と基本的な仕くみ</li> <li>・介護給付（居宅介護サービス、地域密着型サービス、居宅介護福祉用具購入費等）</li> <li>・予防給付（介護予防サービス、地域密着型介護予防サービス、介護予防福祉用具購入等）</li> <li>・介護報酬</li> <li>・地域支援事業と地域包括支援センターの役割と機能</li> </ul> <p>③ 介護保険サービスの利用までの流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険サービス利用の流れ</li> <li>・要介護・要支援の認定</li> <li>・ケアマネジメント</li> </ul> <p>④ サービス提供事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供事業者の種類：指定居宅サービス事業者 指定地域密着型サービス事業者、共生型サービス事業者の特例</li> </ul> <p>⑤ 介護保険の財源</p> <p>⑥ 介護保健制度における専門職の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援事業者</li> <li>・介護支援専門員</li> <li>・関連する専門職（介護福祉士・社会福祉士・医師・看護師・作業療法士 理学療法士・歯科医師・薬剤師・保健師・民生委員等）</li> </ul>										
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第1巻「社会の理解Ⅰ・Ⅱ」 （一般財団法人 長寿社会開発センター）									
使用機器										
成績評価の方法	試験で評価する									
備考										

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
社会の理解Ⅱ	基礎学科	6月 12月	30	40
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族、地域、社会との関連から生活と福祉を捉えることができる</li> <li>・ <u>地域共生社会の考え方と地域包括ケアの仕組みについて、基本的な知識を習得している。</u></li> <li>・ 社会保障制度の発達、体系、財源について基本的な知識を習得している。</li> </ul> <p>《 概 要 》</p> <p>1 社会と生活のしくみ                                  5 介護実践に関する制度</p> <p>2 地域共生社会の実現に向けた制度や施策</p> <p>3 社会保障制度</p> <p>4 障害福祉</p>				
授 業 内 容				
<p>1 社会と生活のしくみ</p> <p>① 家族との生活と福祉</p> <p>2 地域共生社会の実現に向けた制度や施策</p> <p>① 地域共生社会とは</p> <p>・ 地域共生社会の実現が求められる背景</p> <p>・ 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進</p> <p>② 地域包括ケアシステム</p> <p>・ 地域包括システムとは (地域包括ケアシステムの意義、地域包括システムの模式図、<u>地域包括ケアと「自助、互助、共助、公助」</u>)</p> <p>・ 介護保険法における位置づけ</p> <p>3 社会保障制度</p> <p>① 社会保障制度の発達</p> <p>② 社会保障制度の体系と財源 (医療制度、年金制度、児童福祉、生活保護等)</p> <p>4 障害者福祉</p> <p>① 障害者福祉の展開</p> <p>② 障害者総合支援法の体系</p> <p>③ 障害者・児に対する経済的支援</p> <p>5 介護実践に関する制度</p> <p>① 個人情報保護制度</p> <p>② 個人情報の活用</p> <p>③ 成年後見制度</p> <p>④ 日常生活自立支援事業</p> <p>⑤ 地域における保険医療福祉サービスの提供体制</p>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第1巻「社会の理解Ⅰ・Ⅱ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備 考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
介護の基本Ⅰ	基礎学科	4月 10月	10	14
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士の法的な定義や義務を踏まえ、<u>介護予防や看取り、災害時等における介護福祉士の役割を理解している。</u></li> <li>・個別ケア、ICF（国際生活機能分類）、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、<u>尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等</u>を理解している。</li> <li>・介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止、虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護福祉士の役割と機能</li> <li>2 尊厳の保持と自立に向けた介護</li> <li>3 介護福祉士の倫理</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護福祉士の役割と機能             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士制度</li> <li>② 介護福祉士の役割と機能</li> <li>③ <u>介護人材のあり方と介護福祉士のキャリアパス</u> <u>・介護保険制度で求められた新たな役割</u></li> </ol> </li> <li>2 尊厳の保持と自立に向けた介護             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 尊厳の保持と自立に向けた介護展開のプロセス <u>・予防的介護の実践、重症化防止・遅延化の視点</u></li> <li>② ICFの視点に基づくケア</li> <li>③ ICFとは</li> <li>④ リハビリテーション</li> </ol> </li> <li>3 介護福祉士の倫理             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士の職業倫理</li> <li>② 身体拘束の禁止と虐待防止</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第2巻「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
介護の基本Ⅱ	基礎学科	4月 10月	20	27
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。</li> <li>・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を習得している。</li> <li>・リスク分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を習得している。</li> <li>・介護従事者の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を習得している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護を必要とする人の生活の理解と支援</li> <li>2 介護実践における連携</li> <li>3 介護における安全の確保とリスクマネジメント</li> <li>4 介護従事者の安全</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護を必要とする人の生活の理解と支援 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介護を必要とする高齢者の生活の理解</li> <li>② 介護を必要とする障害者の生活の理解</li> <li>③ 介護を必要とする高齢者・障害のある人の支援の課題</li> </ol> </li> <li>2 介護実践における連携 <ol style="list-style-type: none"> <li>① チームアプローチとは</li> <li>② チームアプローチにおける他の職種の機能と役割</li> <li>③ チームアプローチにおける多職種連携</li> <li>④ チームアプローチにおける関係機関の役割</li> <li>⑤ チームアプローチにおける関係機関との連携</li> </ol> </li> <li>3 介護における安全の確保とリスクマネジメント <ol style="list-style-type: none"> <li>① リスクとは</li> <li>② 安全確保</li> <li>③ 事故防止</li> <li>④ 感染管理</li> </ol> </li> <li>4 介護従事者の安全 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介護者の心身の健康管理</li> <li>② 労働安全対策</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第2巻「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
コミュニケーション技術	専攻学科	4月 10月	20	27
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人・家族との支援関係を構築し、意志決定を支援することができる。</li> <li>・利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。</li> <li>・チームマネジメント（組織の運営管理、人材管理、リーダーシップ、フォロワーシップ等）に関する知識を理解し、活用できる。</li> <li>・状況や目的に応じた記録、報告、会議等で情報の共有化ができる。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者・家族とのコミュニケーション</li> <li>2 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション</li> <li>3 介護におけるチームのチームマネジメントとコミュニケーション</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者・家族とのコミュニケーション <ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用者とのコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護場面における利用者とのコミュニケーションの基本</li> </ul> </li> <li>② 家族とのコミュニケーション</li> <li>③ 相談援助技術 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉援助活動</li> <li>・バイステックの7原則</li> <li>・介護職による相談援助</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>2 利用者の機能に応じたコミュニケーション <ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用者とのコミュニケーションの実際</li> <li>② 利用者の状態に応じたコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の利用者とのコミュニケーション</li> <li>・運動機能の低下した利用者とのコミュニケーション</li> <li>・言語障害を持つ利用者とのコミュニケーション</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>3 介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション <ol style="list-style-type: none"> <li>① チームマネジメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームマネジメントとは</li> <li>・組織の運営管理</li> <li>・人材管理</li> <li>・リーダーシップ・フォロワーシップ</li> </ul> </li> <li>② チームにおけるコミュニケーション</li> <li>③ 情報の共有化とは</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第3巻「コミュニケーション技術」（一般財団法人 長寿社会開発センター）			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
生活支援技術Ⅰ	基礎実技	6月 11月	20	27
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解している。</li> <li>ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる。</li> <li>自立に向けた生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助など）を習得している。</li> <li>住居環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の生活環境を整備する視点・留意点を理解している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>生活支援とICF</li> <li>ボディメカニクスによる介護</li> <li>生活支援技術の基本と福祉用具の活用</li> <li>環境整備</li> </ol>				
授業内容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>生活支援とICF               <ol style="list-style-type: none"> <li>ICF</li> <li>ICFの視点に基づくアセスメント</li> <li>ICFの視点と生活支援</li> </ol> </li> <li>ボディメカニクスによる介護               <ol style="list-style-type: none"> <li>ボディメカニクスの活用</li> <li>ボディメカニクスの実践</li> </ol> </li> <li>生活支援技術の基本と福祉用具の活用               <ol style="list-style-type: none"> <li>移動・移乗介助の基本</li> <li>食事介護の基本</li> <li>入浴・清潔保持の基本</li> <li>排せつ介護の基本</li> <li>衣服の着脱の基本</li> <li>整容の基本</li> <li>口腔ケアの基本</li> <li>家事援助の基本</li> </ol> </li> <li>環境整備               <ol style="list-style-type: none"> <li>居住環境の整備</li> <li>居住環境と福祉用具</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第4巻「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
生活支援技術Ⅱ	基礎実技	4月 10月	30	40
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>環境整備・移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の活用について、利用者の心身の状態に合わせた、自立に向けた生活支援技術を理解し、行うことができる。</p> <p>《概要》</p> <p>1 利用者の心身の状況に合わせた生活支援技術</p>				
授 業 内 容				
<p>1 利用者の心身の状況に合わせた生活支援技術</p> <p>① 心身の状態に合わせた環境整備</p> <p>② 心身の状態に合わせた介護技術の提供 ・介護技術の目標 ・自立に向けた生活支援技術</p> <p>③ 心身の状態に合わせた移動の介助</p> <p>④ 心身の状態に合わせた移乗の介助</p> <p>⑤ 心身の状態に合わせた食事の介助</p> <p>⑥ 心身の状態に合わせた入浴・清潔保持の介助</p> <p>⑦ 心身の状態に合わせた排せつの介助</p> <p>⑧ 心身の状態に合わせた着脱の介助</p> <p>⑨ 心身の状態に合わせた整容の介助</p> <p>⑩ 心身の状態に合わせた口腔ケア</p> <p>⑪ 心身の状態に合わせた休息・睡眠の介助 ・睡眠の意義や目的</p> <p>⑫ 心身の最終段階における介護</p> <p>⑬ 福祉用具等の活用</p>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第4巻「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				



教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
介護過程Ⅰ	基礎実技	6月 12月	20	27
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の目的、意義、展開を理解している。</li> <li>・介護過程を踏まえて、目的に沿って計画的に介護を行う。</li> <li>・チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、他の職種の役割を理解している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護過程の基礎知識</li> <li>2 介護過程の展開</li> <li>3 介護過程とチームアプローチ</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護過程の基礎知識             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介護過程の理解</li> <li>② 介護過程の展開とは</li> </ol> </li> <li>2 介護過程の展開             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介護過程のサイクル</li> <li>② 介護過程の手順</li> </ol> </li> <li>3 介護過程とチームアプローチ             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介護過程におけるチームの職種と役割</li> <li>② 介護職の観察、記録、情報伝達</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第5巻「介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
介護過程Ⅱ	基礎実技	6月 12月	25	34
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護過程の展開の実践（情報収集から計画立案まで） 介護過程の展開の実践（実施から計画の見直しまで）</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護過程の展開の実際           <ol style="list-style-type: none"> <li>① 情報の収集</li> <li>② アセスメント</li> <li>③ 介護計画の立案</li> <li>④ 実施</li> <li>⑤ モニタリング・評価・計画の見直し</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第5巻「介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 （一般財団法人 長寿社会開発センター）			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
介護過程Ⅲ	基礎実技	7月 1月	45	60
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に習得し、活用できる。</li> <li>・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し）を提供できる。</li> <li>・介護計画を踏まえ、安全確保、事故防止、家族との連携・支援、他職種・他機関との連携を行うことができる。</li> <li>・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況に応じた介護を行うことができる。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護過程の展開</li> <li>2 介護過程の評価</li> <li>3 介護課程の展開の実際Ⅱ</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護過程の展開の実践             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介護過程の展開と介護技術の実践</li> </ol> </li> <li>2 介護技術の評価             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 介護福祉士技術試験                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験の概要</li> <li>・介護福祉士国家試験の受験資格</li> </ul> </li> <li>② 介護キャリア段位制度                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護キャリア段位制度導入の背景とねらい</li> <li>・介護キャリア段位の構造</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成実務者研修テキスト第5巻「介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
こころとからだのしくみⅠ	基礎実技	4月 10月	20	27
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を習得している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <p>1 介護に関係したからだのしくみの基礎的な理解</p>				
授 業 内 容				
<p>1 介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 移動・移乗 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動、移乗に関する身体の構造と機能</li> </ul> </li> <li>② 食事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事に関する身体の構造と機能</li> <li>・栄養素やエネルギー</li> <li>・摂食・嚥下のメカニズム</li> </ul> </li> <li>③ 入浴・清潔保持 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴に関する身体の構造と機能</li> <li>・褥瘡の予防</li> </ul> </li> <li>④ 排せつ <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄に関する身体の構造と機能</li> </ul> </li> <li>⑤ 衣服の着脱</li> <li>⑥ 整容（身だしなみ）</li> <li>⑦ 口腔ケア</li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第8巻「こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ」（一般財団法人 長寿社会開発センター）			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
こころとからだのしくみⅡ	基礎実技	4月 10月	60	80
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の基本的欲求、学習・記憶に関する基礎的知識を習得している。</li> <li>・生命維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を習得している。</li> <li>・身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、観察、アセスメント、関連する職種との連携が行える。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間の心理</li> <li>2 人間の構造と機能</li> <li>3 身体の仕組み、心理、認知機能等を踏まえた介護における観察、アセスメントのポイント、連携等の留意点</li> <li>4 介護ロボットのしくみ</li> </ol>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間の心理 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 人間の欲求</li> <li>② 人間の学習と記憶</li> </ol> </li> <li>2 人間の構造と機能 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生命の維持・恒常</li> <li>② からだのしくみ</li> <li>③ こころとからだの相互関係</li> <li>④ ボディメカニクスの原則</li> </ol> </li> <li>3 身体の仕組み、心理、認知機能等を踏まえた介護における観察、アセスメントのポイント、連携等の留意点 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 移動・移乗</li> <li>② 食事</li> <li>③ 入浴・清潔保持</li> <li>④ 排せつ</li> <li>⑤ 着脱</li> <li>⑥ 整容</li> <li>⑦ 口腔ケア</li> <li>⑧ 休息・睡眠</li> <li>⑨ 人生最終段階におけるケア</li> </ol> </li> <li>4 介護ロボットのしくみ</li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第8巻「こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ」(一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
発達と老化の理解Ⅰ	基礎学科	4月 10月	10	14
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</li> <li>・老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 老化に伴う心の変化</li> <li>2 老化に伴う身体の変化</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 老化に伴う心の変化               <ol style="list-style-type: none"> <li>① こころの変化</li> <li>② 高齢者の精神的特徴と病気</li> </ol> </li> <li>2 老化に伴う身体の変化               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 加齢と老化</li> <li>② 人の身体の成り立ち</li> <li>③ 身体機能の変化と日常生活への影響</li> <li>④ 五感の変化による日常生活への影響</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第6巻「発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ」（一般財団法人 長寿社会開発センター）			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
発達と老化の理解Ⅱ	専攻学科	5月 11月	20	27
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクル各期の発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。</li> <li>・老年期の発達課題、心理的な課題（老化、役割の変化、喪失、経済的不安、うつ等）と支援の留意点について理解している。</li> <li>・高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間の成長・発達</li> <li>2 高齢期の発達課題、心理的な課題</li> <li>3 高齢者に多い症状と疾病、支援の留意点</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間の成長・発達 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 発達の定義 <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長と発達</li> <li>・生涯発達</li> </ul> </li> <li>② 発達の段階</li> <li>③ 発達課題</li> </ul> </li> <li>2 高齢期の発達課題、心理的な課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 高齢期の発達課題</li> <li>② 高齢期の発達を阻害する要因</li> <li>③ 高齢期と適応</li> </ul> </li> <li>3 高齢者に多い症状と疾病、支援の留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康チェックとバイタルサイン</li> <li>② 主な症状とチェックポイント</li> <li>③ 疾病の理解と支援の留意点</li> </ul> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第6巻「発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ」（一般財団法人 長寿社会開発センター）			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
認知症の理解Ⅰ	専攻学科	7月 1月	10	14

## 《ねらい・到達目標》

- ・ 認知症ケアの取り組みの経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。
- ・ 認知症による生活上の障害、心理、行動の特徴を理解している。
- ・ 認知症の人やその家族に対する関わり方・支援の基本を理解している。

## 《概要》

- 1 認知症ケアの理念
- 2 認知症による生活障害
- 3 認知症の人や家族へのかかわり・支援の基本

## 授業内容

- 1 認知症ケアの理念
  - ① 認知症の定義と診断基準
  - ② 認知症ケアの歴史
  - ③ 認知症ケアの理念：パーソンド・センタード・ケア
  - ④ 認知症の人の尊厳と自立・自律  
・本人の意思決定
  - ⑤ チームアプローチ（多職種連携）
- 2 認知症による生活障害
  - ① 認知症による生活困難
  - ② 中核症状
  - ③ 生活障害
  - ④ 行動・心理症状
- 3 認知症の人や家族へのかかわり・支援の基本
  - ① 介護職による認知症の人の理解とかかわり方
  - ② 介護家族による認知症の人の理解とかかわり方
  - ③ 介護職による介護家族の心理の理解と支援の基本  
・介護家族の心理と介護負担感
  - ④ 本人・家族の声

## 教科書・参考書

介護福祉士養成 実務者研修テキスト第6巻「認知症の理解Ⅰ・Ⅱ」  
（一般財団法人 長寿社会開発センター）

## 使用機器

## 成績評価の方法

試験で評価する

## 備考



教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
認知症の理解Ⅱ	専攻学科	7月 1月	20	27
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等について医学的知識を理解している。</li> <li>・認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、住居環境についてアセスメントし、本人主体の理念に基づいた支援ができる。</li> <li>・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医学的側面から見た認知症の理解</li> <li>2 認知症の人への支援の実際</li> <li>3 認知症ケアの地域サポート体制</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医学的側面から見た認知症の理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 認知症の病態</li> <li>② 認知症の診断</li> <li>③ 認知症の原因疾患とケア</li> <li>④ 健康管理</li> <li>⑤ 認知症の薬物療法</li> <li>⑥ 認知症の非薬物療法</li> <li>⑦ ステージアプローチ</li> </ol> </li> <li>2 認知症の人への支援の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 認知症ケアの基本</li> <li>② 認知症のアセスメントと自立・自立支援</li> <li>③ 生活障害のアセスメントと自立・自立支援</li> <li>④ 行動・心理症状のアセスメントと自立・自立支援</li> </ol> </li> <li>3 認知所ケアのサポート体制 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域包括ケアと認知症ケア</li> <li>② 新オレンジプラン</li> <li>③ 認知症ケアの地域サポート</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第6巻「認知症の理解Ⅰ・Ⅱ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
障害の理解Ⅰ	専攻学科	4月 10月	10	14
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している</li> <li>・ 障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。</li> <li>・ 障害のある人やその家族に対する関わり方・支援の基本を理解している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者福祉の理念</li> <li>2 障害の特徴と生活上の障害</li> <li>3 障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者福祉の理念 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 障害者福祉の理念</li> <li>② 障害の概念変遷、障害者福祉の歴史</li> </ol> </li> <li>2 障害の特徴と生活上の障害 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 障害者（児）とは</li> <li>② 身体障害の特徴と生活上の障害</li> <li>③ 知的障害の特徴と生活上の障害</li> <li>④ 精神障害の特徴と生活上の障害</li> <li>⑤ 高次脳機能障害の特徴と生活上の特徴</li> <li>⑥ 発達障害の特徴と生活上の障害</li> <li>⑦ 強度行動障害</li> <li>⑧ 難病の特徴と生活上の障害</li> </ol> </li> <li>3 障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 障害のある人や家族へのかかわり・支援</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第7巻「障害の理解Ⅰ・Ⅱ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
障害の理解Ⅱ	専攻学科	6月 12月	20	27
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を習得している。</li> <li>・障害の特性、家族・社会関係、住居環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。</li> <li>・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用している。</li> </ul> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医学的側面から見た障害の理解</li> <li>2 障害の特性に応じた支援の実際</li> <li>3 障害者の地域サポート体制</li> </ol>				
授 業 内 容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医学的側面から見た障害の理解               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 身体障害の原因・種類</li> <li>② 知的障害の原因・種類</li> <li>③ 精神障害の原因・種類</li> <li>④ 高次脳機能障害の原因・種類</li> <li>⑤ 発達障害の原因・種類</li> <li>⑥ 難病の原因・種類</li> </ol> </li> <li>2 障害の特性に応じた支援の実際               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 障害のある人のアセスメントと支援</li> <li>② 相談支援</li> <li>③ 障害の特性に応じた支援</li> </ol> </li> <li>3 障害者の地域サポート体制               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域における障害者サポート体制</li> <li>② 障害者支援のための地域連携</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第7巻「障害の理解Ⅰ・Ⅱ」 (一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
医療的ケア	基礎実技	7月 1月	50	67
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得できる。</p> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療的ケア実践の基礎</li> <li>2 喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）</li> <li>3 経管栄養（基礎的知識・実施手順）</li> <li>4 演習</li> </ol>				
授業内容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎知識編               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 人間と社会                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度</li> </ul> </li> <li>② 保険医療制度とチーム医療</li> <li>③ 安全な療養生活                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・喀痰吸引や経管栄養の安全な実施</li> <li>・救急蘇生法</li> </ul> </li> <li>④ 清潔保持と感染予防                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防</li> <li>・介護職員の感染予防（職員の感染管理）</li> </ul> </li> <li>⑤ 健康状態の把握</li> </ol> </li> <li>2 実践編               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」</li> <li>② 高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」実施手順</li> <li>③ 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」</li> <li>④ 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順</li> </ol> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第9巻「医療的ケア 介護職員による喀痰吸引・経管栄養」（一般財団法人 長寿社会開発センター）			
使用機器				
成績評価の方法	試験で評価する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
介護施設実習	専攻実技	7月 1月	52	70
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>各介護サービスの特徴を理解できる。            習得した知識・技術を実践できる。            記録の確認、カンファレンス参加による介護過程の実際を体験する。            自己の就職活動の参考にできる。</p> <p>《概要》</p> <p>特別養護老人ホーム実習            訪問介護実習            通所介護実習            まとめ</p>				
授業内容				
<p>1 特別養護老人ホーム実習</p> <p>2 通所介護実習</p> <p>3 訪問介護実習</p>				
教科書・参考書				
使用機器				
成績評価の方法	受講を認定する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
介護関連実習	その他実技	8月 2月	33	44
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>鼻腔・口腔・気管カニューレ内の喀痰吸引を確実に実施できる。          経鼻、胃ろうによる経管栄養を確実に実施できる。          普通救命講習Ⅰの修了証を取得する。          福祉・介護用品の使用方法を説明できる。          当校所有の介護ロボットの操作ができる。</p> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>救命講習</li> <li>医療的ケア基本実習</li> <li>介護ロボット操作演習</li> </ol>				
授業内容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>救命講習</li> <li>医療的ケア基本実習             <ul style="list-style-type: none"> <li>・経管栄養法 実技演習、実技評価</li> <li>・喀痰吸引法 実技演習、実技評価</li> </ul> </li> <li>介護ロボット操作演習             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションロボット</li> <li>・移乗支援ロボット</li> </ul> </li> </ol>				
教科書・参考書	介護福祉士養成 実務者研修テキスト第9巻「医療的ケア 介護職員による喀痰吸引・経管栄養」(一般財団法人 長寿社会開発センター)			
使用機器				
成績評価の方法	受講を認定する (医療的ケア基本実習については、試験で評価する)			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
コンピュータ操作基本実習	その他実技	8月 2月	24	32
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>Wordを活用し文章が作成できる。 Excelを活用しデータ入力、表やグラフの作成ができる。 PowerPointを活用し、プレゼンテーション資料を作成できる。</p> <p>《概要》</p> <p>Word Excel PowerPoint</p>				
授 業 内 容				
<p>1 アプリケーションソフトの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Word</li> <li>・ Excel</li> <li>・ PowerPoint</li> </ul>				
教科書・参考書	よくわかるWord2013&Excel2013 (FOM出版) よくわかるPowerPoint2013基礎 (FOM出版)			
使用機器				
成績評価の方法	受講を認定する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
安全衛生	基礎学科	5月 10月	1	1
<p>《ねらい・到達目標》 労働安全に関する視点を持ち、訓練事故防止につながる行動ができる。</p> <p>《概要》 労働や安全に関すること ヒヤリハットについて</p>				
授 業 内 容				
1 労働や安全に関すること、ヒヤリハット等				
教科書・参考書				
使用機器				
成績評価の方法	受講を認定する			
備考				



教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
安全衛生作業法	基礎実技	3	1	1
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>災害時の避難方法を説明できる。 介護施設での避難について考えることができる。</p> <p>《概要》</p> <p>避難訓練</p>				
授業内容				
1 避難訓練等				
教科書・参考書				
使用機器				
成績評価の方法	受講を認定する			
備考				

教科名	区分	実施時期	単位数	時間数
社会	その他学科	5月 10月	17	23
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>人権について自己の考えをまとめることができる。 交通事故を起こすことなく訓練が修了できる。 修了時に就職決定もしくは就職先を選定できる。</p> <p>《概要》</p> <p>人権教育 交通安全 就職活動</p>				
授 業 内 容				
<p>1 オリエンテーション</p> <p>2 人権教育</p> <p>3 交通安全</p> <p>4 就職支援</p>				
教科書・参考書				
使用機器				
成績評価の方法	受講を認定する			
備考				